

31H 池高 樹      32H 青柳 まり菜      33H 石垣 優  
 34H 芳永 匠海      35H 吉田 透矢      36H 水野 怜美

■課題 アクセスが悪いことによって観光資源を生かしきれていない能登は、どのような対策をすればよいか。

■解決策 観光施設と宿泊施設を一体にした宣伝を行い、日帰りではなく宿泊する観光客の増加をねらう。

■現状（課題の背景）

① 県外からのアクセスが悪く、日帰り旅行が困難である。

<東京から>

飛行機

- ・ のと里山空港まで  
羽田空港～のと里山空港  
(約1時間)  
1日2往復



- ・ 金沢駅まで  
羽田空港～小松空港～金沢駅  
(約1時間40分)  
1日12往復

鉄道

- ・ 七尾駅まで  
東京駅～七尾駅  
(約4時間)  
※金沢駅で七尾線に乗り換え

- ・ 金沢駅まで  
東京駅～金沢駅  
(約2時間30分)



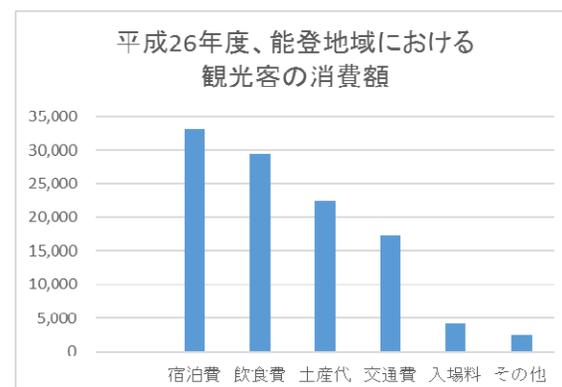
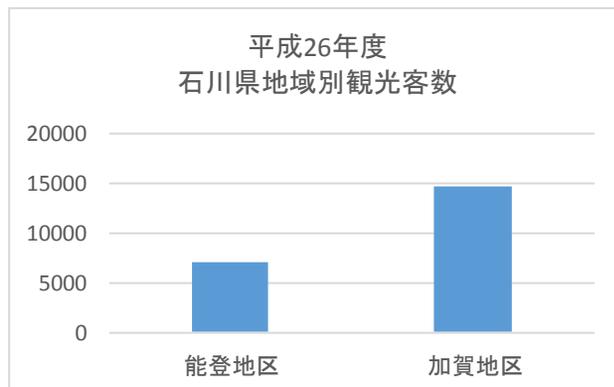
高速バス

- ・ 七尾駅まで  
東京駅～七尾駅  
(約10時間)  
夜行便のみ1日1本



- ・ 金沢駅まで  
池袋・新宿～金沢駅  
(約8時間)  
1日6往復

② 観光客は少ないが、その消費額の中では宿泊費の割合が高い。



<http://toukei.pref.ishikawa.jp/dl/3229/kankoutoukeiH27.pdf>

■具体的内容

① ホームページの作成  
(若年層向け)

- ・ 宿泊施設のランキング一覧を載せたホームページを作成する。
- ・ 宿泊施設の周辺の観光施設を「おさんぽマップ」としてホームページに載せる。



② 新聞の広告の利用  
(高齢者向け)

- ・ 観光から定住につなげるためにツアーを組み、それを新聞の広告にのせる。



③ 新たなプランの提案

- ・ 食費を抑えて宿泊費を安くする。(夕食なしの宿泊)
- ・ 宿泊者の食事の選択の幅を広げる。(旅館で提携している飲食店のパンフレットを配る)(宗教上の理由で食事制限がある人や菜食主義者向けのコースをつくる)

■効果

- ・ 宿泊の観光客数が増加し、能登で多くのお金を使ってもらえる。
- ・ 能登を県外の人により知ってもらえる。



宿泊した観光客が SNS や口コミで能登の良さを伝え、より観光客数が増える。